

2022 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	はすの会 東大阪・神戸
活動テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・遺族の多様なニーズに応えるグリーフケアを行う ・遺族会のファシリテーターを養成する



遺族とはすの会のスタッフで、奈良方面への日帰りバス旅行を行った。大阪を出発し、ホテル奈良さくらの郷で昼食をとった後、会議室を借りて亡き人を思い手紙を書いた。安倍文殊院でご住職の説法を聴き、参加者同士やスタッフを交えて歓談して過ごした。奈良の自然に癒され非日常に身を置くことにより自身の思いを見つめる機会となった。

遺族会のファシリテーターの養成を目的として、遺族会の設立や運営に必要なものや遺族の語られる悲嘆を学ぶ研修を、はすの会のスタッフが貸し会議場を借りて2022年9月に3回行った。第1回は「傾聴者であること～私自身をツールとして～」・「ケア提供者に必要なもの～視座を広げる～」のテーマで、第2回は「遺族会の設立・運営について」・「わたしの悲しみ、あなたの悲しみ」のテーマで、第3回は「ファシリテーターとしての不安を払拭する」・「遺族会ではどのようなことがおこるのか」・「遺族会で気づいたこと」のテーマでの研修を行った。各回の研修では講義とグループワークを3時間行った。研修の受講後には、遺族会の実際を知るため、はすの会の定例会でスタッフとして実習を受けてもらった。遺族会の実際を知り、受講者自身の課題を知る機会になったとの振り返りがあった。受講生が研修で学んだものを社会に還元できれば、グリーフケアとしての遺族会が周知され普及していくことにつながると考える。